学校番号	１００７

令和３年度地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	日本史Ａ						
使用教科書	日本史Ａ現代からの歴史（東書）						
副教材等	図説　日本史通覧（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史上の人物の生き方から学び、自分の生き方を見つめなおす。
・現在の日本と諸外国の関係につながる歴史事象について多面的に検証する。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、資料を活用して歴史について、歴史的なものの見方や考え方を身につける。
・現代の諸課題について、近現代史を中心とする歴史と結び付け、その因果関係について理解し、説明することができる。
・主題を設定して追及する学習を通して歴史について主体的に学ぶ態度や学び方を習得する。
・歴史事象について公正に判断する思考力、理解力を身につけ、平和な社会作りに貢献する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近代国家の形成、展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。国際的に主体的に生きる人間としての責任を果たそうとしている。	近代国家の形成、展開と社会や文化の特色から課題を見出し、国際環境と関連付けて多面的、多角的に考察すると共に、国際社会の変化を踏まえて公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。	近代国家の形成、展開や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	近代国家の形成、展開と社会や文化の特色についての基本的な事柄を国際環境と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。
評価方法	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	大日本帝国の展開	1. 条約改正と立憲政友会結成 2. 朝鮮政策と日清戦争 3. 日清戦争後の東アジア 4. 日露戦争と朝鮮	○ ○	○ ○ ○	 ○	 ○ ○	a:条約改正、朝鮮、台湾進出、日清日露戦争に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 条約改正、朝鮮、台湾進出、日清・日露戦争を世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 条約改正、朝鮮、台湾進出、日清・日露戦争に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 条約改正、朝鮮、台湾進出、日清・日露戦争世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
2ターム	両対戦間の世界と日本	・大正デモクラシー ・第一次世界大戦と戦後の世界 ・米騒動と改造の時代 ・男子普通選挙法と治安維持法	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ 	 ○ ○	a:大正デモクラシーと呼ばれる民主化運動と第一次世界大戦前後の日本に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 大正デモクラシーと呼ばれる民主化運動と第一次世界大戦前後の日本を世界の動きの中で多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 大正デモクラシーと呼ばれる民主化運動と第一次世界大戦前後の日本に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 大正デモクラシーと呼ばれる民主化運動と第一次世界大戦前後の日本を世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 発表

3ターム	十五年戦争と日本・アジア	・侵略戦争への序幕 ・満州事変と満州国 ・日中戦争 ・第2次世界大戦と日本 ・アジア太平洋戦争 ・日本の敗戦	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a：日中戦争、太平洋戦争にどのように進んで行ったか、に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 日中戦争、太平洋戦争への道、戦時下の国民生活を世界の動きの中で多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 日中戦争、太平洋戦争に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 日中戦争、太平洋戦争に進んでいった日本を世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている	定期考査 ワークシート 発表
4ターム	戦後改革と高度経済成長	・戦後世界と日本 ・日本国憲法と民主主義体制 ・戦後改革の転換 ・経済復興と再軍備 ・サンフランシスコ平和条約 ・高度経済成長と公害 ・低成長への転換	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a：わが国の再出発およびその後の政治や対外関係の推移についての基本的な事項を占領政策と諸改革、平和条約と独立、戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化について総合的に理解し、その知識を身につけている。 b: 戦後の諸改革、経済復興国際交流や国際貢献の拡大を世界の動きの中で多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 戦後の諸改革、経済復興、高度経済成長に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 戦後日本の経済発展と経済復興、高度経済成長、国際交流と国際貢献の拡大本を世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。